

第3回沼南近隣センター整備検討会 会議録

日時

令和8年1月24日(土) 午後2時から午後3時35分まで

場所

沼南庁舎 大会議室

参加者

検討委員 10名

・風早北部地域ふるさと協議会 4名

・ひまわりプラザ利用者団体連絡会 2名

・大島田区, 風早中学校 PTA, 風早北部小学校 PTA, 大津ヶ丘第一小学校 PTA, 各1名

事務局 8名

・市民生活部長, 同次長他

傍聴者 7名

議事概要

1 開会

2 市(事務局)説明

(1)アンケート調査結果について

(2)導入する機能について

市(事務局)から当日資料に基づき説明

3 協議

風早北部地域ふるさと協議会長を座長として協議を進行

・限られたスペースの中で, 多様な目的に適う施設にするためには, 用途を限定するより, マルチに使えるスペースを検討していくのがよいのだろう。

・長年にわたり, 曜日・時間・スペースを問わず, 多くの時間を旧沼南近隣センターで過ごしてきた。アンケート結果には, 旧センターの利用実態がリアルに表れている。この結果を踏まえ, 導入機能のイメージを提案していただいたことを嬉しく思う。

・アンケート結果からは, ホールについて, 「演奏会・発表会」と「体を動かすこと」の2種類のニーズが高いことが見受けられた。

・本格的なスポーツ利用は沼南体育館があるため, 近隣センターではダンスや卓球などの軽スポーツで利用できる広いスペースがあるとよいのだろう。また, 演奏会・発表会には, 広いスペースに加え, ステージと客席が必要なため, 2種類のニーズを踏まえホール機能を考えていただきたい。

・旧沼南近隣センターは音出し可能な部屋が多く, 市内全域から音楽団体が集まっている

た。市の将来を考えると施設の「縮充」は必要と考えるが、市内には音楽利用ができる公共施設は限られていることから、引き続き音楽団体も使いやすい施設としてほしい。

（市）ホール機能については、限られた財源・スペースの中で、演奏会やスポーツ利用等多目的に使える空間として、ステージや椅子を可動式で収納できる様態とする検討している。

・ホールには、演奏会の会場として、舞台や客席が必要なイメージがあるが、別の使い方もある。旧ひまわりプラザの舞台は奥行きがあり広いスペースだったため、日常的な練習にも活用できた。音楽団体としては、演奏会本番を想定した大人数での楽器練習が日常的に行える場所を必要としているため、設備は可動式で広いスペースが作れる構造がよいと思う。

・カフェ機能については、こども食堂を運営している団体に順番で担っていただき、こども食堂の運営継続に寄与できるとよいのではないか。大人もこどもも集まりやすい施設になると思う。

（市）これから近隣センターは、多世代・みんなの居場所として考えている。現状、他の近隣センターでも子ども食堂が開催されていることを踏まえ、必要な設備を検討していきたい。

・フリースペースについても一定の利用ルールが必要だと思う。ネットワーク環境を整えて、フリースペースでも予約して使う方式をとれるといいのではないか。

（市）コスト面も踏まえて検討したい。いずれにしても、フリースペースにおけるマナーも含めたルール作りは必要であると考えている。

・行政サービス機能について、相談窓口のニーズがアンケート結果では読み取れなかつたが、必要か否かの検討も必要だと思う。

（市）相談窓口については、旧ひまわりプラザでは総合的な福祉の相談窓口として、いきいきセンターを開設していた。新たな施設にも、地域のかたが困った時に相談できる場所が必要であると考えている。

・図書館機能について、最近は、飲み物を飲みながら誰かと一緒に本を読むような施設が多くなっている。ぜひそういうものも参考にしてもらいたい。

（市）図書館については、独立した空間ではなく、フリースペースの中に本棚や机等を配置し、自由に行き来しながら多様な過ごし方ができる空間の中に、図書館機能があるイメージを想定している。

・「縮充」という考え方は大切であると思うが、ひまわりプラザは沼南町のシンボルだった。ぜひ、大幅な規模縮小にならないようにしてほしい。

(座長)世の中の電子化が進むなど、社会情勢も変化していく。導入する機能については、固定化した考え方ではなく、先々を考え、変化に伴って使い方も変えられるような施設設計を検討していただきたい。

(市) いただいた御意見をもとに導入する機能や規模について整理し、次の検討会でお示しする。

4 その他

(市) 次回検討会を2月28日（土）に開催する。

5 閉会